



外国出張報告書

平成 26 年 6 月 23 日

1. 出張国名 フィリピン、ラオス
2. 出張月 平成 26 年 4～6 月
3. 出張目的 2014 年雨期作の試験設計及び作付け、インドでの高温不稔調査及び拠出金の年次会議参加：A

4. 成果の概要

収量ポテンシャルや早朝開花性、および出穂性のQTLをアジア・アフリカの主力品種に導入する育種素材の開発を進めた。2014年雨期作の試験計画を作成した。
インドのTamil Nadu農業大学にて、乾期作の高温不稔実態調査を行った。5月に乾期作の開花調査を行い、6月に収穫時の不稔調査を行った。2回の訪問により現地試験圃場で高温不稔が起こっていることを明らかにし、論文化に必要なデータを揃えた。
5月上旬にラオスで開催されるIRRIの拠出金事業の年次会議に出席し、ラオスとインドネシアのカウンターパートとIR64背景の育成系統を用いた現地収量試験や高温不稔の試験計画について議論した。